

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農山村振興費

事業名【新】ニホンザル対策モデル加速化事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農村振興課 鳥獣害対策係 電話番号：058-272-1111(内4172)

E-mail：c11427@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,000 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	9,000	0	0	0	0	0	9,000	0	0
決定額	9,000	0	0	0	0	0	9,000	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- 令和6年度の県内におけるニホンザルによる農作物被害額は36,365千円となっており、イノシシ、ニホンジカに次いで3番目に被害が大きい(県全体の13%)。
- ニホンザルは群れで行動し、地域によっては農作物被害だけでなく林業や人的被害に及んでいる。
- ニホンザルによる農作物被害等を減少するためには、個々の農業者による対策だけでは限界があるため、住民等が協力して地域ぐるみで対策を実行することが有効であり、その活動に対し支援が必要である。
- 令和7年度に実施した「政策オリンピック(ニホンザル対策のモデル構築)」において効果が確認された優れた取組については、県内の他地域への横展開を図り、被害軽減対策の加速化を図る必要がある。

(2) 事業内容

ニホンザルによる農林業被害を減少させ、地域住民が安心して暮らせる農村集落づくりと野生鳥獣との共生を図るため、「安心と共生のニホンザル対策事業」「ニホンザル対策推進事業」で取り組まれた優れた事例をニホンザル対策のモデルとして県内に横展開する。

<対象団体> 地域協議会、地域猟友会、森林組合等

(3) 県負担・補助率の考え方

優れたニホンザル対策事例を県内に横展開する。

- ・補助率 定額
- ・補助限度額 3,000千円／1団体

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	9,000	各種団体等が行うニホンザル対策の活動を支援（4団体程度）
合計	9,000	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 第二種特定鳥獣管理計画（ニホンザル） 2023(R5)年4月1日～2028(R10)年3月31日
- 鳥獣被害防止特措法に基づく市町村被害防止計画（県内35市町村が策定）

(2) 国・他県の状況

29府県で第二種特定鳥獣管理計画（ニホンザル）策定（R6.5現在）

各府県において、第二種特定鳥獣管理計画及び各市町村が策定する被害防止計画に基づき、ニホンザルを含む各種加害鳥獣に対する捕獲、防護、環境管理に係る取組みを実施。

(3) 後年度の財政負担

ニホンザルによる農林業被害を減少させるため、持続的な対策の実施と継続した支援が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

ニホンザルによる直接の農林業被害を受けている自治会、JA、森林組合等の団体が事業実施主体となるのは妥当である。

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	ニホンザル対策モデル加速化事業費補助金
補助事業者（団体）	地域協議会、地域猟友会、森林組合等 (理由) ニホンザルによる被害を受けている地域において、地域ぐるみの対策活動が求められる。
補助事業の概要	(目的) 優れたニホンザル対策事例を県内に横展開する。 (内容) 「安心と共生のニホンザル対策事業」「ニホンザル対策推進事業」で取り組まれた優れた事例をニホンザル対策のモデルとして県内に横展開するのを支援する。 【政策オリンピック】
補助率・補助単価等	定額 ・定率・その他（例：人件費相当額） (内容) 上限3,000千円（4団体程度） (理由) 各種団体が取り組みニホンザル対策モデルに必要な経費
補助効果	獣種別の被害対策モデルの構築
終期の設定	終期 令和8年度 (理由) 清流の国ぎふ森林環境基金事業の計画終期

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか ニホンザルによる農作物被害を減少させる。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R6)	R6年度実績	R7年度目標	R8年度目標	終期目標 (R8)	達成率
	ニホンザル対策モデルの取組団体数	-	/	/	3	

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	/	/	/

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 5 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 6 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 ニホンザルによる農作物被害は依然として高い水準で発生しており、地域条件に合わせた支援が必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ニホンザルによる農林業への被害は大きく、各市町村、農林業関係者並びに地域住民からの要望が多い。
